

## (1) 文化・芸術活動に関するアンケート

① 調査期間：平成25年9月11日～30日

② 調査方法

◇大分県芸術文化振興会議会員（大分県文化年鑑平成24年度）の内、団体会員であって、その「所在地が市内の団体」及び「所在地が市外で『活動記録』により市内の文化・芸術関連施設での活動が確認できた団体」にアンケート用紙を郵送等により配布。回収は郵送および窓口で実施。

※配布数110団体 回答64団体 回収率58.2%

◇「ホルトホール大分」「コンパルホール」「平和市民公園能楽堂」「大分中央公民館を除く12地区公民館」利用者にアンケート用紙を施設窓口等で配布。回収は郵送および窓口で実施。

※配布数不明 回答125団体

③ 回答団体数：189団体

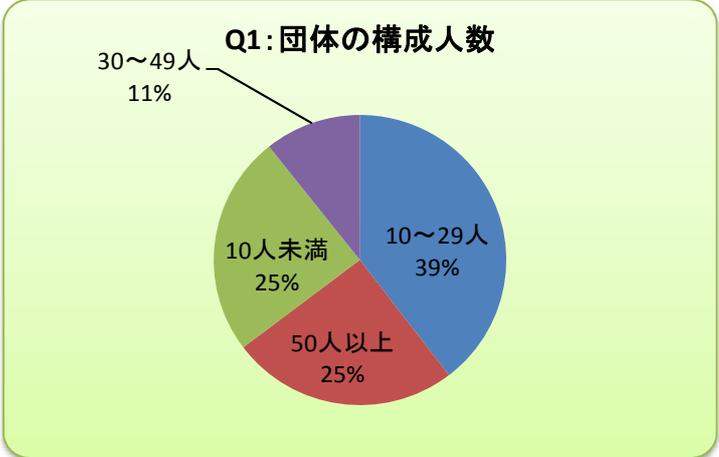
④ その他

集計結果の割合(%)を算出するため、回答件数から「未回答」を除いており、合計が189と一致しないものがあります。

# 文化・芸術活動に関するアンケート結果

Q1: 団体の構成人数

		全体	件数	割合 (%)
1	10～29人	187	74	39.6
2	50人以上	187	47	25.1
3	10人未満	187	46	24.6
4	30～49人	187	20	10.7
			187	100.0



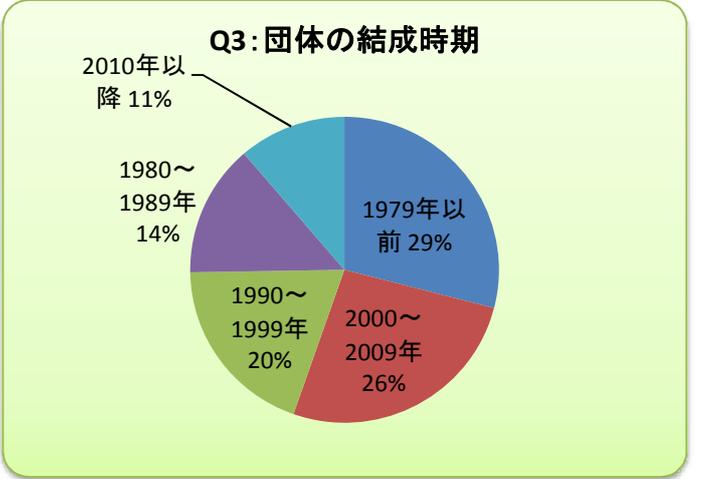
Q2: 団体メンバーの中心年代(2つまで回答可)

		全体	件数	割合 (%)
1	60代	321	99	30.8
2	70代	321	70	21.8
3	幅広い年代に分散	321	45	14.0
4	50代	321	40	12.5
5	40代	321	20	6.2
6	30代	321	18	5.6
7	20代	321	16	5.0
8	20代未満	321	13	4.0
			321	100.0



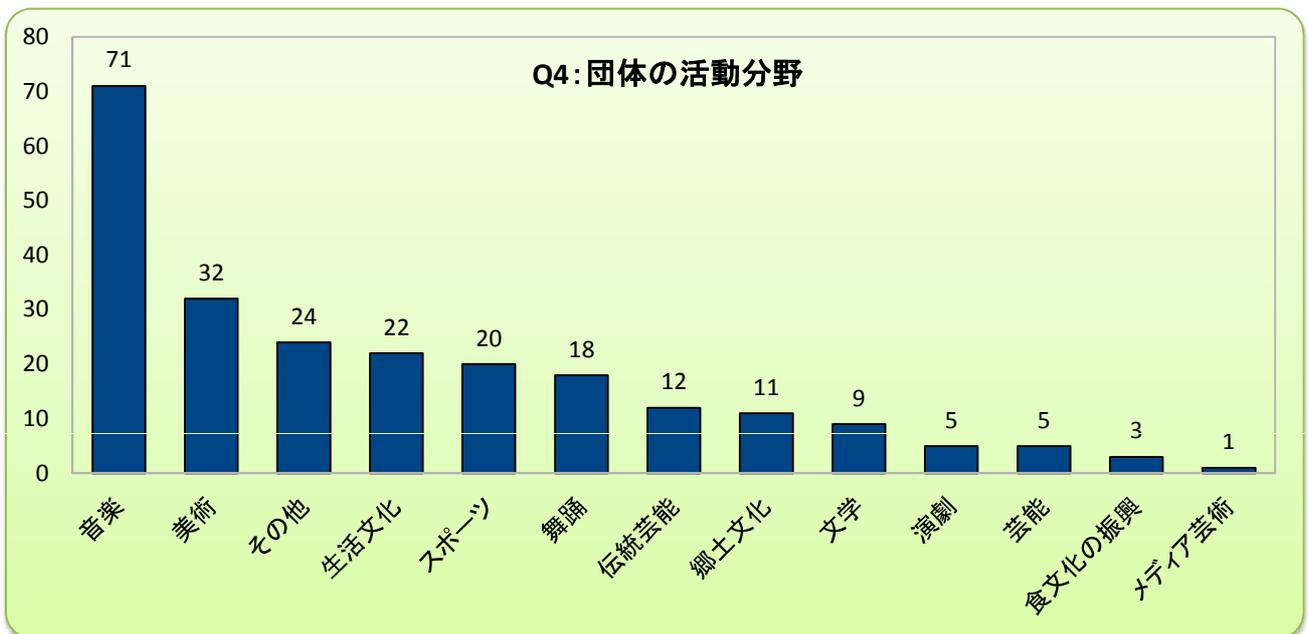
Q3: 団体の結成時期

		全体	件数	割合 (%)
1	1979年以前	186	54	29.0
2	2000～2009年	186	49	26.3
3	1990～1999年	186	36	19.4
4	1980～1989年	186	26	14.0
5	2010年以降	186	21	11.3
			186	100.0



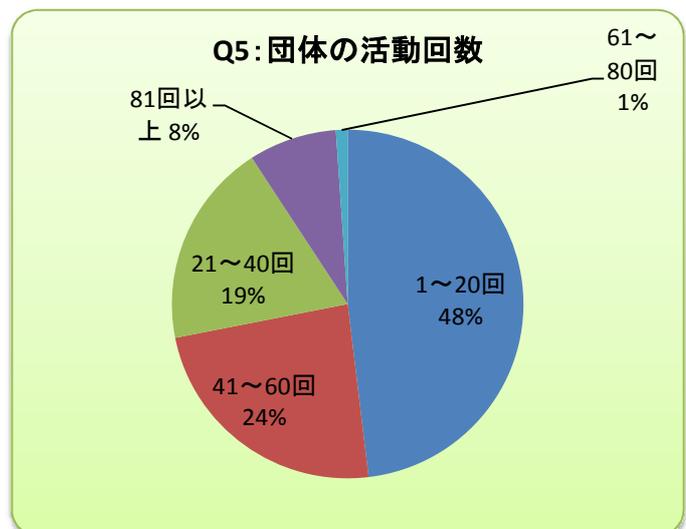
Q4.団体の活動分野(複数回答可)

		全体	件数	割合(%)
1	音楽	233	71	30.5
2	美術	233	32	13.7
3	その他	233	24	10.3
4	生活文化	233	22	9.4
5	スポーツ	233	20	8.6
6	舞踊	233	18	7.7
7	伝統芸能	233	12	5.2
8	郷土文化	233	11	4.7
9	文学	233	9	3.9
10	演劇	233	5	2.1
11	芸能	233	5	2.1
12	食文化の振興	233	3	1.3
13	メディア芸術	233	1	0.4
			233	100.0



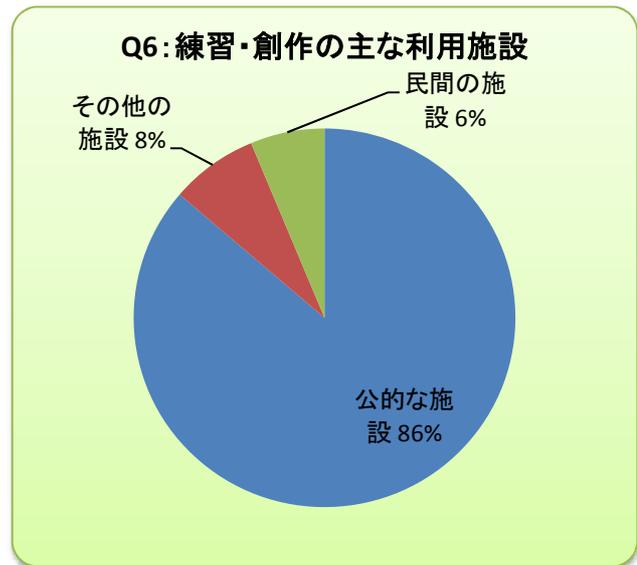
Q5.年間の活動回数

		全体	件数	割合(%)
1	1~20回	185	89	48.1
2	41~60回	185	44	23.8
3	21~40回	185	35	18.9
4	81回以上	185	15	8.1
5	61~80回	185	2	1.1
			185	100.0



Q6.練習・創作の主な利用施設

		全体	件数	割合(%)
3	公的な施設	175	151	86.3
2	その他の施設	175	13	7.4
1	民間の施設	175	11	6.3
			175	100.0



公的な施設(複数回答はそれぞれに算入)

公民館(地区公民館)	81
公民館(その他公民館)	3
ホルトホール大分	2
コンパルホール	25
iiichiko総合文化センター	12
平和市民公園能楽堂	4
文化会館	3
アートプラザ	3
芸術会館	14
市民(行政)センター	7
県立総合体育館	1
南大分体育館	1
アイネス	1
高校・大学	5
横瀬小学校	1

民間の施設

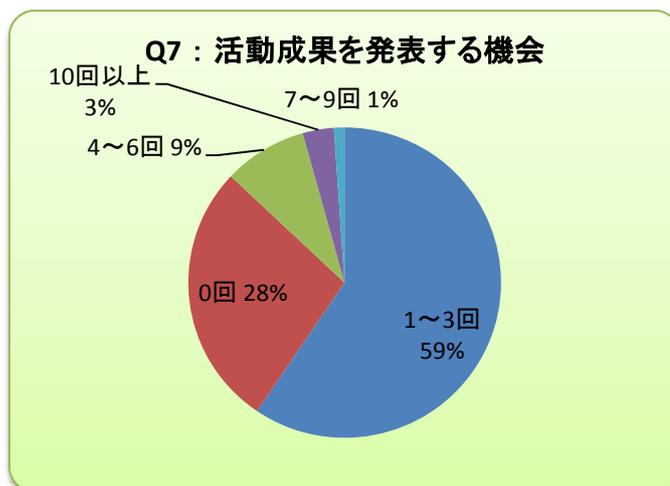
県民オペラ会館	2
トップウェルネス	1
商工会館	1
トキハアクロス明野店	1
個人のスタジオ	1
TIP大分駅ビル	1
トキハ	1
老人保健施設	1

その他の施設

それぞれ個人宅	2
ひだまりの里	1
藤京子アトリエ	1
後藤智江モダンダンススタジオ	1
学校	1
自宅の舞台	1
保育園内	1
個人のスタジオ	1
舞鶴6F専用練習場	2
別府社会福祉会館	1

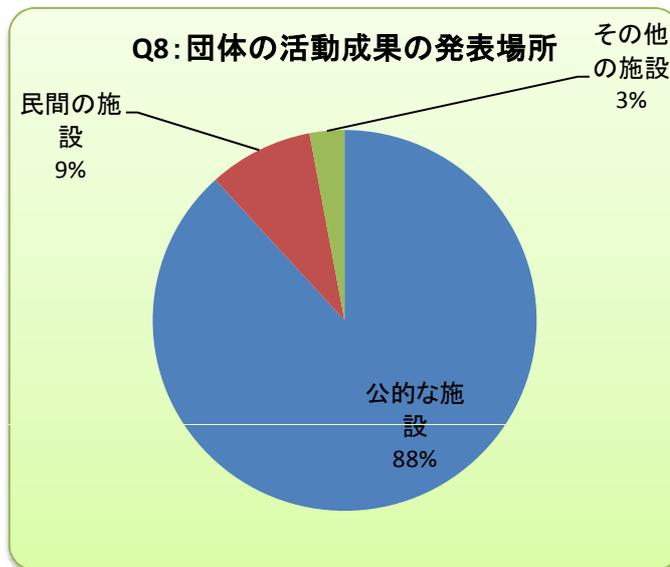
Q7.活動成果を発表する機会

		全体	件数	割合(%)
1	1～3回	185	110	59.5
2	0回	185	51	27.6
3	4～6回	185	16	8.6
4	10回以上	185	6	3.2
5	7～9回	185	2	1.1
		185	100.0	



Q8.団体の活動成果の発表場所

		全体	件数	割合(%)
1	公的な施設	136	120	88.2
2	民間の施設	136	12	8.8
3	その他の施設	136	4	2.9
		136	100.0	



公的な施設(複数回答はそれぞれに算入)

公民館(地区公民館)	24
公民館(その他公民館)	4
ホルトホール	4
コンパルホール	19
大分市美術館	1
iichiko総合文化センター	37
平和市民公園能楽堂	7
文化会館	6
アートプラザ	4
芸術会館	19
市民センター	2
県立総合体育館	2
南大分体育館	1
アイネス	1
学校(県下の小学校)	3
各都市のホール	1
公園	1

民間の施設

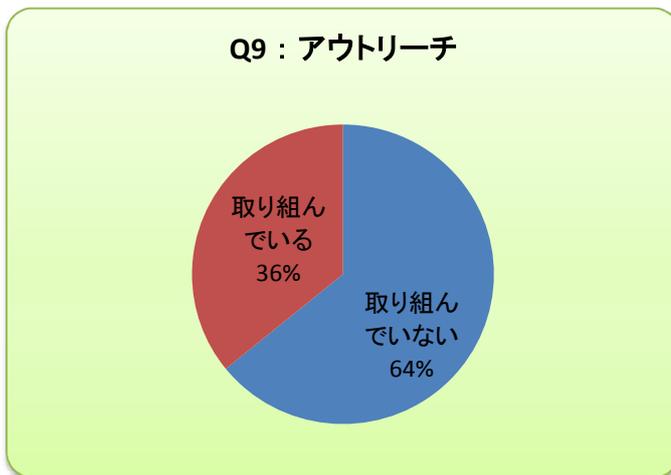
県農業会館	2
トキハ会館	2
大分銀行ロビー	1
アクロスホール	1
ルーテル教会	1
博多市民センター	1
ホテル	1

その他の施設

地域の学校訪問	1
市内の福祉施設	1
デイケアサービス	1
招待に応じ、各地で発表	1

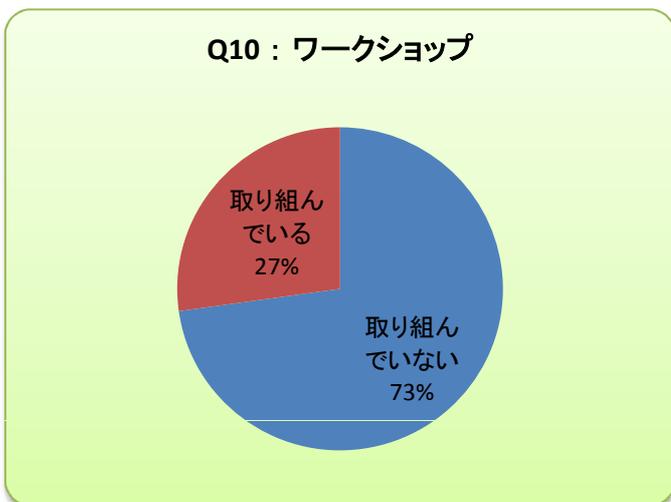
Q9.アウトリーチに取り組んでいるか

		全体	件数	割合(%)
1	取り組んでいない	170	109	64.1
2	取り組んでいる	170	61	35.9
			170	100.0



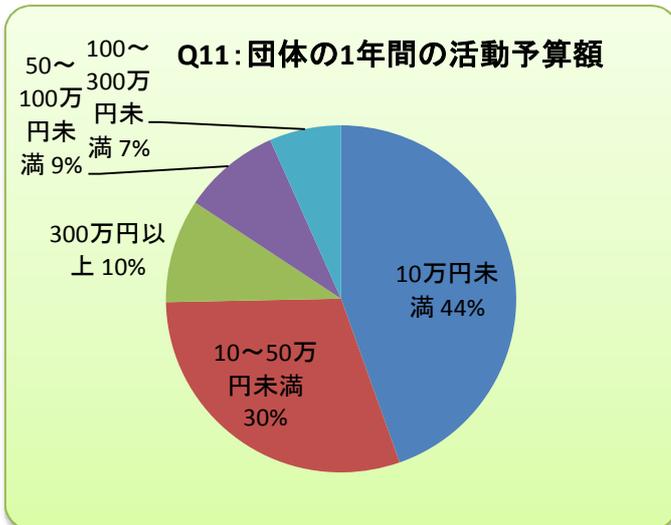
Q10.ワークショップに取り組んでいるか

		全体	件数	割合(%)
1	取り組んでいない	169	123	72.8
2	取り組んでいる	169	46	27.2
			169	100.0



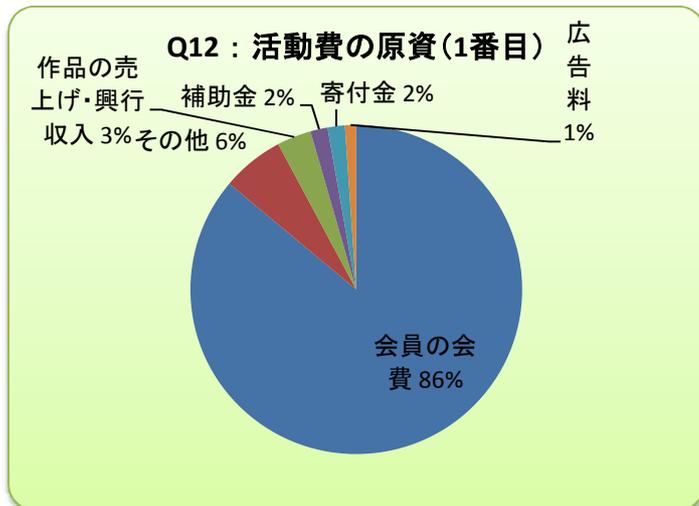
Q11.団体の1年間の活動予算額

		全体	件数	割合(%)
1	10万円未満	166	74	44.6
2	10~50万円未満	166	50	30.1
3	300万円以上	166	16	9.6
4	50~100万円未満	166	15	9.0
5	100~300万円未満	166	11	6.6
			166	100.0



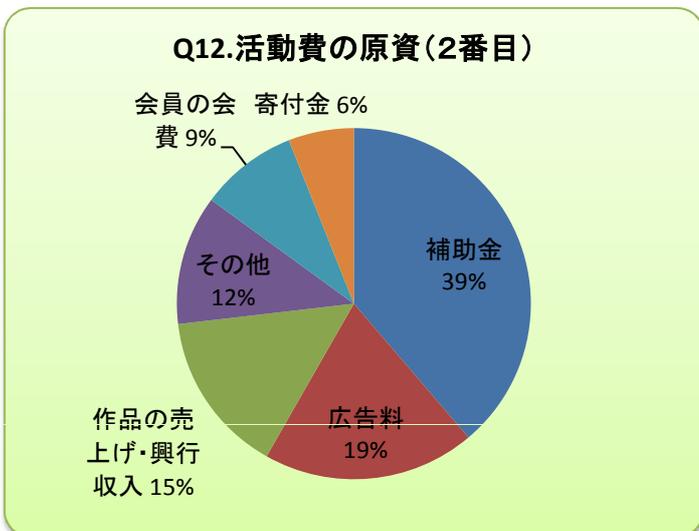
Q12.活動費の原資(1番目)

		全体	件数	割合(%)
1	会員の会費	180	155	86.1
2	その他	180	11	6.1
3	作品の売上げ・興行収入	180	6	3.3
4	補助金	180	3	1.7
5	寄付金	180	3	1.7
6	広告料	180	2	1.1
		180	180	100.0



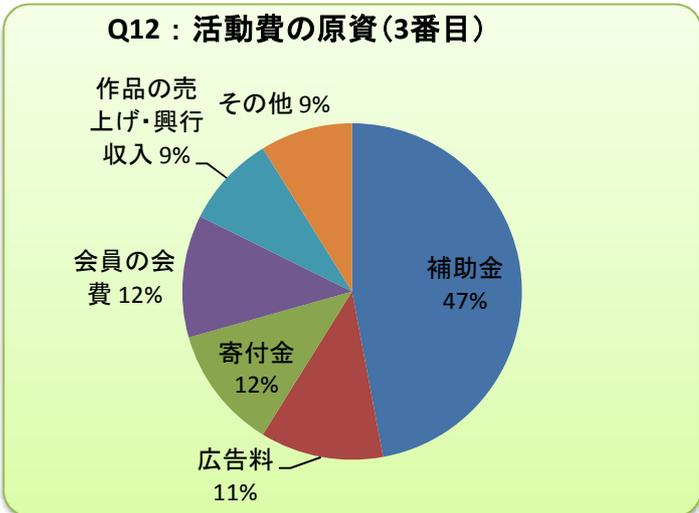
Q12.活動費の原資(2番目)

		全体	件数	割合(%)
1	補助金	67	26	38.8
2	広告料	67	13	19.4
3	作品の売上げ・興行収入	67	10	14.9
4	その他	67	8	11.9
5	会員の会費	67	6	9.0
6	寄付金	67	4	6.0
		67	67	100.0



Q12.活動費の原資(3番目)

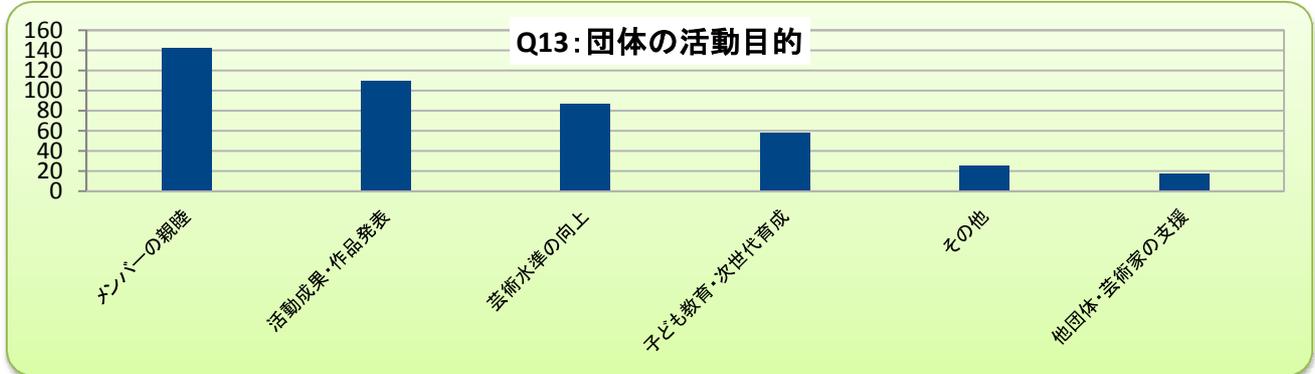
		全体	件数	割合(%)
1	補助金	34	16	47.1
2	広告料	34	4	11.8
3	寄付金	34	4	11.8
4	会員の会費	34	4	11.8
5	作品の売上げ・興行収入	34	3	8.8
6	その他	34	3	8.8
		34	34	100.0



Q13.団体の活動目的(当てはまるものすべて)

		全体	件数	割合(%)
1	メンバーの親睦	438	142	32.4
2	活動成果・作品発表	438	109	24.9
3	芸術水準の向上	438	87	19.9
4	子ども教育・次世代育成	438	58	13.2
5	その他	438	25	5.7
6	他団体・芸術家の支援	438	17	3.9

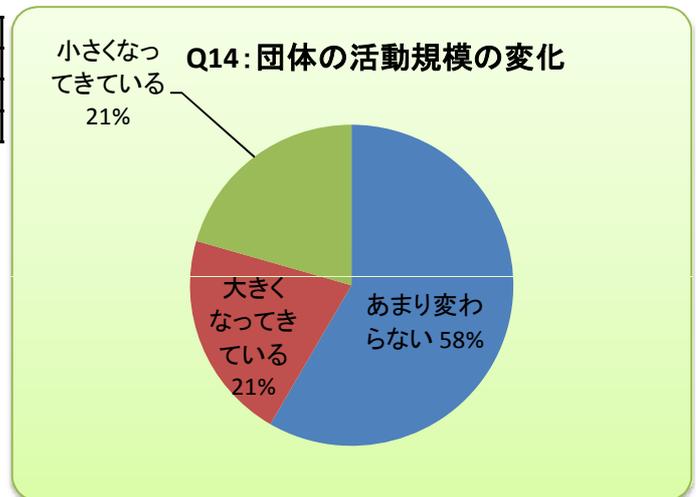
438 100.0



Q14.団体の活動規模の変化

		全体	件数	割合(%)
1	あまり変わらない	185	108	58.4
2	大きくなってきている	185	39	21.1
3	小さくなってきている	185	38	20.5

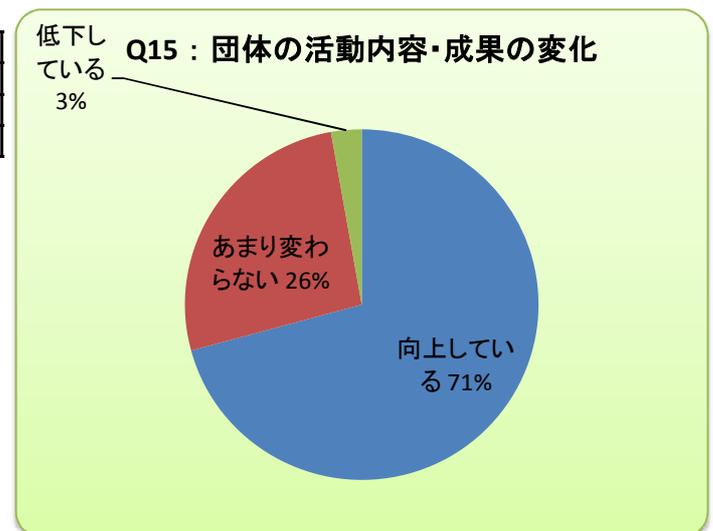
185 100.0



Q15.団体の活動内容・成果の変化

		全体	件数	割合(%)
1	向上している	178	126	70.8
2	あまり変わらない	178	47	26.4
3	低下している	178	5	2.8

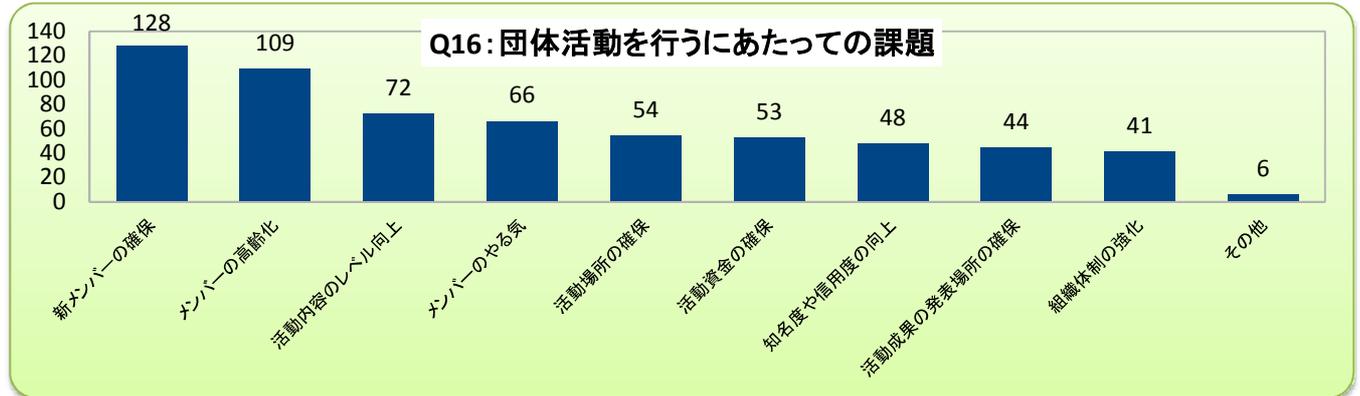
178 100.0



Q16. 団体活動を行うにあたっての課題

	全体	件数	割合 (%)
1 新メンバーの確保	621	128	20.6
2 メンバーの高齢化	621	109	17.6
3 活動内容のレベル向上	621	72	11.6
4 メンバーのやる気	621	66	10.6
5 活動場所の確保	621	54	8.7
6 活動資金の確保	621	53	8.5
7 知名度や信用度の向上	621	48	7.7
8 活動成果の発表場所の確保	621	44	7.1
9 組織体制の強化	621	41	6.6
10 その他	621	6	1.0

621 100.0



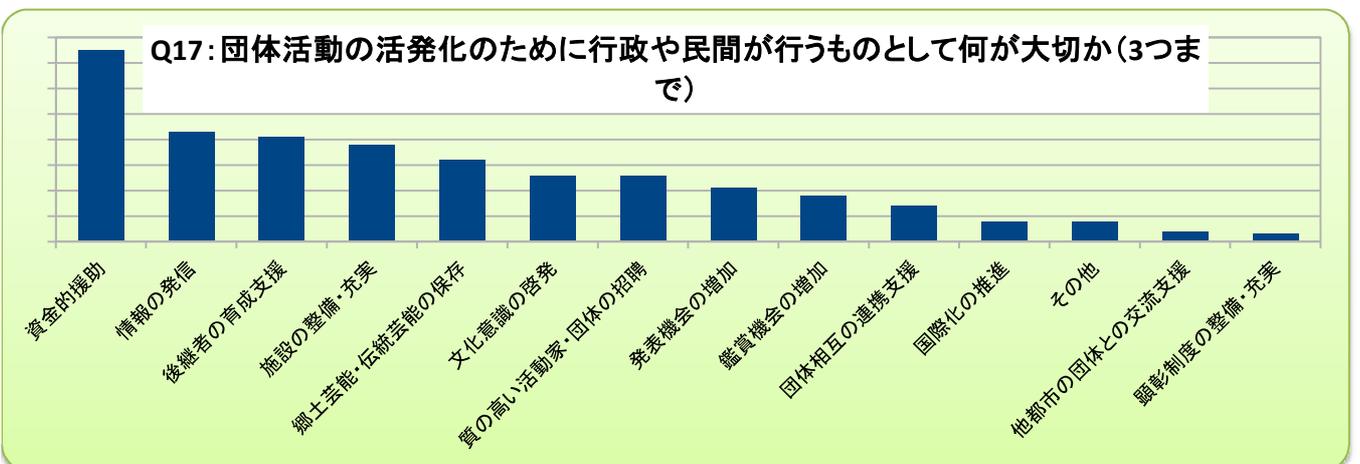
Q17. 団体活動の活発化のために行政や民間が行うものとして何が大切か(3つまで)

	全体	件数	割合 (%)
1 資金的援助	357	75	21.0
2 情報の発信	357	43	12.0
3 後継者の育成支援	357	41	11.5
4 施設の整備・充実	357	38	10.6
5 郷土芸能・伝統芸能の保存	357	32	9.0
6 文化意識の啓発	357	26	7.3
7 質の高い活動家・団体の招聘	357	26	7.3
8 発表機会の増加	357	21	5.9
9 鑑賞機会の増加	357	18	5.0
10 団体相互の連携支援	357	14	3.9
11 国際化の推進	357	8	2.2
12 その他	357	8	2.2
13 他都市の団体との交流支援	357	4	1.1
14 顕彰制度の整備・充実	357	3	0.8

357 100.0

⑬施設の整備・充実の「どのような施設」(主なもの)

気軽に利用できる場
300名程度定員の会場
練習ができる施設(部屋)の整備
障がい者に優しいバリアフリーの会場
利用料金の安い会場



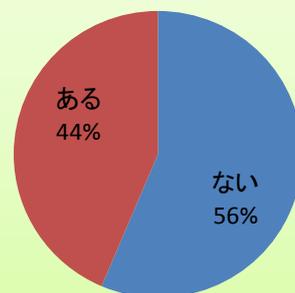
Q18.連携している団体や施設

		全体	件数	割合(%)
1	ない	149	84	56.4
2	ある	149	65	43.6
			149	100.0

連携先の団体(主なもの)

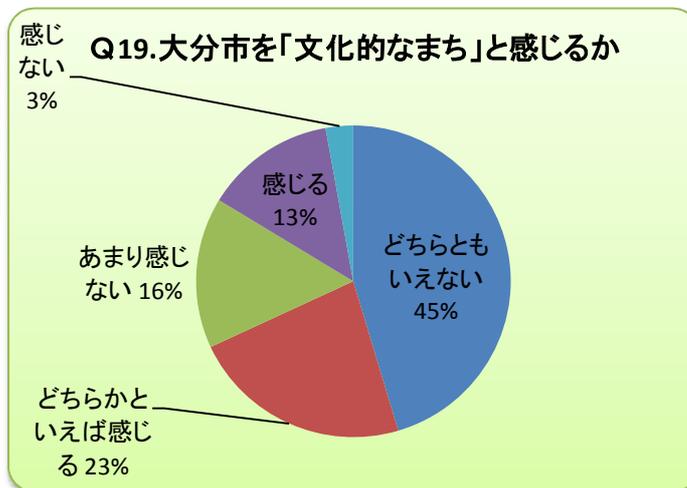
大分県芸術文化振興会議	24
おおいた洋舞連盟	5
大分県三曲協会	4
小学校	3
大分芸能まわり舞台実行委員会	2
大分県合唱連盟	2
(社)日本バレエ協会	2

Q18 : 連携している団体  
や施設



Q19.大分市を「文化的なまち」と感じるか

		全体	件数	割合(%)
1	どちらともいえない	141	64	45.4
2	どちらかといえば感じる	141	32	22.7
3	あまり感じない	141	22	15.6
4	感じる	141	19	13.5
5	感じない	141	4	2.8
			141	100.0



「1.感じる」「2.どちらかといえば感じる」の理由(主なもの)

- ホールがなかなか借りられないほど利用者が多い。
- いろいろな地域で、郷土の伝統芸能の保存・活用が行われていると感じる。
- ホルトホール大分が大分駅近くに来て、興味のある催し物があれば行きやすくなった。
- 商店街のまちなかアートもよいと思う。
- 街のいたる所に絵画や銅像が見られ、本屋に楽譜などが充実している。  
※問題点として、市民の自覚がない。他県(他市)にアピールが弱い。
- 文化芸術団体数が多い。  
※演奏会に足を運ぶ音楽愛好家が限定されている。
- さまざまな施設やさまざまな発表場所があり、楽しんでいる。
- 県立美術館の完成が間近で、地の利がよい。
- ホルトホール大分がオープンした。
- iichikoグランシアタや大分市美術館等で、魅力的で質の高い演奏会や作品展が開催されている。
- 大分市が市民の文化向上に努力している。※今度はリーダーの育成や施設の充実を図り、「市民が主役の街づくり」のムードを盛り上げてほしい。
- 地域の公民館が充実しており、多くの人が積極的に楽しんで活動している。
- 市民の活動発表の施設が多くあり、7月に開館したホルトホール大分も含めて、芸術文化向上に大きく貢献している。

「4.あまり感じない」「5.感じない」の理由(主なもの)

- 普段の生活で、あまり「文化的」を感じる機会がない。
- 交通の便が悪いし駐車料金が高い。
- 伝統芸能について理解している方が少ない。
- 施設が充実していない。
- 発表機会がない。
- 郷土芸能の保存と活用が不足。
- 個人個人の意識が低い。
- 芸術性の質の向上や、市民の鑑賞力が不足している。
- 全国レベルの演奏会、展覧会が少ない。
- 文化的な施設も少ないし、催し物も少ない。

Q20.今後、団体としてどのような点に力を入れて活動を行っていききたいか(自由筆記) (主なもの)

- バレエ教室の生徒が減少したが、心を込めて指導していく。
- 新しい人材を確保し、お互いに研鑽して行きたい。
- 学校を訪れ、小中学生に能楽を知ってもらえる様な活動をしたい。
- 高齢者施設を慰問するなど、ボランティア活動もしたい。
- 和気あいあいと楽しみながら活動して行きたい。
- 高齢者の方にも楽しんで長く関わっていただける場所を提供して行きたい。
- 邦楽器に対する行政の支援を充実させてもらい、今以上に活動を向上させたい。
- 若い人達に、伝統音楽をもっと伝えたい。
- 仲間を増やして行きたい。
- 研鑽を積みながらその成果を市民に見てもらい、相互の交流と文化の進展に寄与したい。
- オーケストラ演奏を発表会としてではなく、料金をいただくのに相当するレベルの高いオーケストラに向かいたい。
- コミュニケーションツールとしてのダンスを幅広い世代に向けて活動して行きたい。
- たくさんの人に人形劇の公演活動を知ってもらい、より多くの幼児・児童・一般の方々に楽しんでもらいたい。
- プロとして自覚を持ってレベルの高い演奏活動を展開していき、次代を担う若手を育てて行きたい。
- 著名な声楽家を多く輩出している大分であるが、その方々にも演奏(活動)する場を作りたい。
- 西洋音楽発祥の地と謳われる大分において歌(声楽芸術)の愛好家を増やし、歌(声楽芸術)の溢れる街を目指したい。
- 作品展を通して会員相互の研修と市民への美術振興と文化の向上に寄与して行きたい。
- 学校での「ふれあいコンサート」活動を続けて、子どもたちに心の豊かな音楽を感じてもらい豊かなゆとりのある人に育つお手伝いをして行きたい。
- 長年、踊りの練習を重ねてきた人達が、踊りをいかした職業に就くことができるようにと考えている。
- 他のジャンルの人々との交流の機会をつくって行きたい。
- 質の高い文化芸術を目ざして行きたい。
- 日本の伝統芸能を若い人達や子供達に伝えて行きたい。
- 若い世代参加しやすい活動をして行きたい。
- シルバー層に人気の高い、新しい芸術といえるカラオケをメジャーの芸術にして行きたい。
- 演奏技術を向上させ、公民館や福祉施設でボランティアとして演奏したい。
- 日本の伝統芸術の振興を図り、研修、交流の場を広げ、偉大な先達を生んだ大分の伝統を維持発展させたい。
- 先人たちの文化遺産をさらに活用して、観光面や地域活性化の一役を担いたい。
- 会員相互の芸術的資質の向上を目指すことで、多くの県民にアピールできる展覧会を開催したい。
- 広く子どもたちに絵画の新しい可能性を提案したい。
- 美術の力を通して人の心に生きる勇気と感動を与えたい。
- 「大分の演劇」を創る。地元だからこそできる舞台づくりを進めたい。劇団員同士が切磋琢磨し、ともに向上できるようなサポートに取り組みたい。
- 若い世代の担い手を育成するため児童生徒に対する練習会等の指導を行う。魅力があり楽しい会にして行きたい。